

大震災・復興ニュース(第56報)

平成24年5月10日

仙台地方振興事務所水産漁港部

1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年5月2日～8日
- 測定分析機関 いであ(株)，(財)日本冷凍食品検査協会，(独)水産総合研究センター-中央水産研究所
(株)総合水研究所
- 測定及び対応結果

放射性セシウムは，国が定めた暫定規制値を下回り安全性に問題がないことが確認されました。

ただ，今回の測定結果に基づくものではありませんが，仙台湾海域と金華山以北の水深150m以浅海域で水揚自粛していたマダラについて，国から5月2日付けで宮城県全域での出荷制限指示が出されました。

同様に，仙台湾海域で水揚自粛していたヒガンフグについても国から5月8日付けで金華山以南海域での出荷制限指示が出されました。

水産物(漁獲日 平成24年4月19日～5月1日)

(単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
イシカワシラウオ	歌津沖	不検出	マガレイ	名取関上沖	1.4
スズキ	気仙沼市大島沖	不検出	マコガレイ	名取関上沖	1.3
サワラ	気仙沼市唐桑沖	不検出	ヒメエソボラ	名取関上沖	不検出
スズキ	気仙沼市唐桑沖	2.7	ミンククジラ	三陸沖	不検出
ウマツラハギ	気仙沼市唐桑沖	8.4	ミンククジラ	三陸沖	1.6
クロソイ	気仙沼市唐桑沖	不検出	ピンナガ	三陸南部沖	1
ヤリイカ	気仙沼市唐桑沖	不検出	キハダ	房総沖	3.4
サクラマス	気仙沼市唐桑沖	1.9	メバチ	房総沖	1.7
イシガレイ	名取関上沖	1.4	放射性物質の値は漁獲日における値を示す。		

2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

ノリの入札状況

5月9日(水)，第12回ノリ入札会が県漁協塩釜総合支所の乾ノリ集出荷場で開催されました。

・今回の結果は以下のとおり。

数量：5,244千枚，金額：32,141千円，平均落札価格：6.13円/枚

最高値：宮戸支所産8.19円/枚

・累計結果は以下のとおり。

数量：137,208千枚(前年の35%)，金額：1,270,081千円(前年の39%)

累積平均単価：9.26円/枚(前年の113%)

・今回の入札が今シーズン最終になります。

塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の平成24年4月の水揚は、数量で2,219トン、金額で1,183,072千円となり、前年同月比数量で1,998トンの増、金額で1,014,562千円の増、平成22年の同月比でも1,590トンの増、金額で759,484千円の増となった。

主な漁業種類はまぐろ延縄、小型底曳き、その他刺網であり、陸送遠洋のクサカリツボダイが好調だったため、合計数量・金額とも前年・前々年同月より増となっている。

塩釜市魚市場水揚状況 (トン, 千円)

月	平成24年		平成23年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,225	552,653	1,405	653,198	87%	85%
2	760	428,901	915	439,655	83%	98%
3	1,281	728,329	246	153,638	521%	474%
4	2,219	1,183,072	221	168,510	1004%	702%
累計	5,485	2,892,955	2,787	1,415,001	197%	204%

<トピックス>

災害復旧応援職員の紹介

4月から水産振興班でお世話になっております永田と申します。

3月までは、三重県の尾鷲というところで働いていました。私の出身地でもある三重県は、伊勢神宮や鈴鹿サーキットなどが有名です。また、イセエビをはじめ様々な水産物や松阪牛など美味しい食べ物もたくさんあります。宮城県の海には東北ならではの美味しい水産物があるだろうと、現在勉強中です。「宮城県に来たらこれを食べる！」というものがあれば、ぜひ教えてください。ちなみに、牛タンはすでに食べました。

来年3月までの1年間と期間が限られていますが、宮城県の漁業の復興のため少しでも力になればと思いますのでよろしくをお願いします。



永田健さん

宮城県水産関係者の皆様、初めまして。私は東日本大震災のため5月1日付けで兵庫県から仙台地方振興事務所水産漁港部漁港漁場班に配属となった松岡です。

宮城県に来るのは初めてでしたが、とても住みやすいところで来たばかりとは思えないような感じがしています。こちらは兵庫県からみればまだ肌寒さも残っていますが、兵庫では散っていた桜をこちらでまた見ることができ、少し幸せな気分になりました。

こちらでは、漁港施設の災害復旧工事の積算及び工事監理等に携わることになっており、先日、荒浜漁港、閉上漁港の現場を見に行きましたが、改めて被害の大きさを目の当たりにし、言葉を失ってしまいました。また、それと同時に復興への道のりの遠さ、難しさを実感しました。

平成24年度は、復興に向けて重要な一年になると思っています。微力ながら精一杯復興に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



松岡裕治さん